

横浜市議員（都筑区）

望月こうとく通信

平成27年2月号

平成27年2月10日発行



本会議質問回数第1位!

議員活動の柱となる本会議質問回数は、**都筑区選出議員中第1位**（平成23年5月以降現在まで）。望月の議会での質疑は、神奈川新聞1面トップに掲載される（平成24年10月3日）など、何度も新聞に取り上げられています。これからも議員活動の柱・基本となる議会活動を重視し、皆様の声を着実に議会に運び、実りある議論を交わしていきます。

議員は、一年毎に常任・特別の各委員会に所属します。望月は、現任期4年間の内で、特に健康福祉・病院経営委員会に2期、減災対策推進（安全・安心・都市）特別委員会には3期在籍し、市民の健康や福祉に関わる施策の推進を図り、生命・財産の安全・維持や防災に関わる市の取組みに対して様々な提言を行ってきました。他には、市政の全体を統括する政策・総務・財政委員会、インフラや街づくり関係の施策を行う建築・都市整備・道路委員会、大都市制度のあり方を議論する大都市行財政制度特別委員会に各1期所属。

未来を担う若者を育む 教育施策の推進

望月は、本市が適切な公教育施策を進めることを何よりも大切なことと考えています。将来、本市と言わず社会全体を担っていく若者にいかにしっかりとした教育を与えられるか。そしてそのための環境を整えていくか。そうした考えに立って児童養護施設等の退所者〔卒業者〕に対する進学支援の必要を当局に説き、また家庭環境を問わず高校生などの若者が海外留学経験をできる条件を社会が整えていく意義も訴えてきました。それらは、『横浜版カナエール』や『世界を目指す若者応援事業』となって具体化しています。

中学校給食の実現化

公立中学校での中学校給食の実施、推進を大会派の反対にめげずに、これからも主張していきます!

行財政改革の推進は 大本命の政策!

～あれもこれもは、おさらば。あれかこれかの選択!!～
少子高齢化・人口減少社会に向かって予算の優先順位化、行財政改革は必須。望月は、本会議初登壇となった平成23年9月の市長に対する一般質問で、徹底的な行財政改革を求めたことは言うに及ばず、ありとあらゆる機会をとらえて無駄の削減、予算の優先順位化を求めてきました。ラスパイレス指数の適正化などの職員人件費や人事給与制度の問題にも切り込んできました。あわせて外郭団体のあり方や補助金の見直しなども強く求め、一歩ずつではありますが着実に成果を生み出しています。

更には旧来から行われている公民連携だけではなく、オープンデータ活用、公会計制度導入など、あらゆる手法を使っていっそうの行財政改革を迫っていきます。

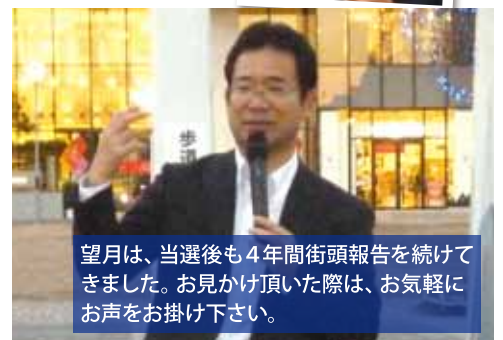
市政報告会開催&市民アンケート実施

望月は議会毎に市政レポート（みんなの声の広場）を配布。後援者の方に限らず参加できる**オープンな市政報告会を開催**してきました。そして市民アンケートなども折々に実施し、常に双方向のコミュニケーションにこだわってきました。



うち の あつし 内野敦氏に県政担当決定!!

維新の党の県政担当（都筑区）が決まりました。内野敦氏です。内野氏は、地元で育ち、家業を営みながら地域活動や国際的なボランティア活動を積極的に行なって来られました。政治経験を積む中で党派の垣根を越えて結集し、しがらみなく改革を進める必要を感じられ、維新の党の仲間とこの度加わりました。地域の声を県政に運ぶ懸け橋となるべく、都筑区支部の県政担当として働いてくれるでしょう。



望月は、当選後も4年間街頭報告を続けてきました。お見かけ頂いた際は、お気軽にお声をお掛け下さい。